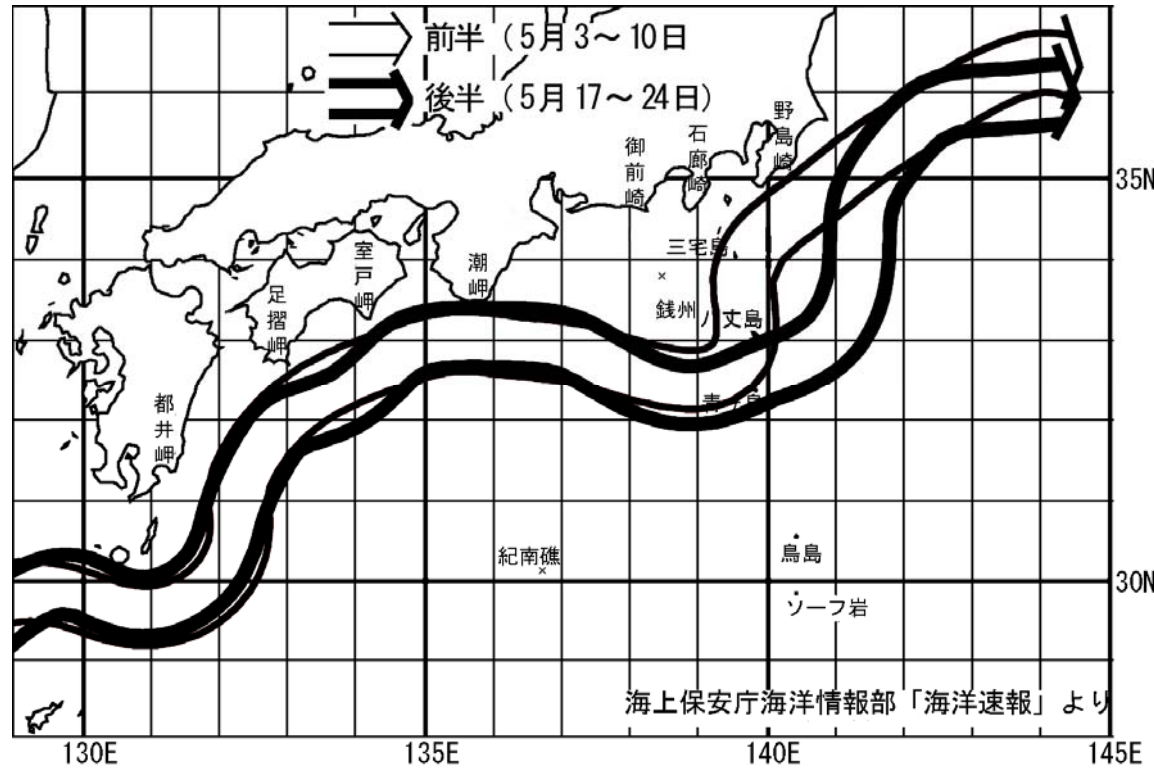


# 漁海況月報

平成24年 5月 1日

No. 5 ~5月31日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	18.8	19.1	19.1	18.6	19.7	19.7	19.3
	1.7	2.5	2.2	0.8	1.5	2.2	2.1
中旬	19.4	19.5	19.7	19.2	19.8	19.8	19.9
	1.5	2.1	2.1	0.6	0.9	1.4	1.8
下旬	19.4	19.5	19.5	19.6	20.0	20.0	20.1
	0.6	1.3	1.1	0.1	0.4	0.8	1.0
月	19.2	19.4	19.5	19.1	19.8	19.8	19.8
	1.3	1.9	1.8	0.5	0.9	1.4	1.6

## 【黒潮流路】

前半の黒潮は、足摺岬～潮岬で接岸した後、遠州灘沖で蛇行して八丈島のから三宅島にかけて北上して房総半島に接岸した。後半の黒潮は、足摺岬～室戸岬で前半よりも離岸し、潮岬で接岸した後、遠州灘沖で蛇行して八丈島の南を通過した。その後 141E 付近を北上して房総半島から離岸して流れた。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、前月下旬の暖水波及の影響で上～中旬は全域で平年よりも高めとなった。下旬は平年並み～やや高めとなった。

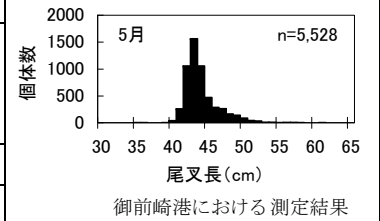
## 【竿釣近海カツオ】

県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は210トで前年同期の37%であった。魚価は470円/kgで、前年同期を上回った。

静岡県沖では、近海と沿岸竿釣り船が28°～34°N、139°～144°Eで小・極小(尾叉長43cmモード)カツオを主体に漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量 (近海・沿岸、県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
24年 5月上旬	101	19	5.3	410
中旬	47	27	1.7	519
下旬	62	15	4.1	529
24年 5月計	210	61	3.4	470
23年 5月計	563	77	7.3	323
22年 5月計	271	62	4.4	493



## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は1,129トで、前年同期の同漁場の水揚量(367ト)の3.1倍、平年(昭和57～平成23年)474トの2.4倍の量となった。

魚種別では、①マルソウダ643.1ト②サバ類213.7ト③カタクチイワシ90.4ト④ブリ59.0ト⑤ヒラマサ52.9トの順に水揚げされた。

マルソウダは、尾叉長で30～40cmの大きさのものが北川、伊豆山漁場を中心に前年同期の8.9倍、平年の19.6倍の量が、サバ類は尾叉長で32～38cmのゴマサバが川奈、北川漁場を中心に前年および平年の約2倍の量がそれぞれ水揚げされた。また、ヒラマサは体重3～4kgのものが主体となり古網、伊豆山漁場を中心に前年同期の約56倍の水揚げがあり好漁となった。

漁場別では、北川304ト(マルソウダ、サバ類、ブリ主体)、川奈259ト(マルソウダ、サバ類、ブリ主体)、古網227ト(カタクチイワシ、マルソウダ、サバ類主体)の順に水揚げ量が多かった。

魚種	漁獲量 (ト)	前年比	平年比	主な漁場
マルソウダ	643.1	8.9	19.6	北川、川奈、伊豆山
サバ類	213.7	2.1	1.8	川奈、北川、古網
カタクチイワシ	90.4	1.1	2.3	古網、富戸、伊豆山
ブリ	59.0	4.5	22.1	伊豆山、古網、川奈
ヒラマサ	52.9	55.8	-	古網、伊豆山、富戸

**[サバたもすくい棒受網]**

小川港には、たもすくい・棒受網によってマサバ185トン（前年同月比253%）、ゴマサバ666トン（前年同月比89%）が水揚げされた。1隻あたり水揚量はマサバ4.1トン/隻（前年同月比186%）、ゴマサバ14.8トン/隻（前年同月比65%）であった。平均単価はマサバが103円/kgで前年同月（280円）を下回り、ゴマサバも46円/kgで前月（51円）、前年同月（62円）を下回った。

たもすくいの漁場は、大室出しに形成された。棒受網の漁場は、上旬から下旬にかけて、ゴマサバ主体で三本、三宅に形成された。

マサバは尾叉長36cmモードの3歳魚（2009年級群）主体、ゴマサバは27cmモードの1歳魚（2011年級群）主体であった。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
24年5月上旬	43	104	4	8	5.4	13.0	96	49	汰 茂 燧 丸
中旬	96	266	6	20	4.8	13.3	90	44	汰 茂 燧 丸
下旬	46	296	7	17	2.7	17.4	138	46	汰 茂 燧 丸
24年5月計	185	666	17	45	4.1	14.8	103	46	
23年5月	73	746	11	33	2.2	22.7	280	62	汰 茂 燧 丸
22年5月	128	586	15	42	3.0	14.0	231	63	汰 茂 燧 丸

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**[サクラエビ船曳網]**

12日出漁し、水揚量は709トンと前年同月を216トン上回った。上旬、中旬の漁場は主に田子の浦～三保沖と焼津～大井川沖に形成され、下旬は富士川～由比沖と焼津～大井川沖に形成された。水揚げされたサクラエビは、体長36.4mmにモードを持つ当歳エビと39.9mmにモードもつ1歳エビで、当歳エビが主体であった。

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り 平均(kg)	漁 場
平成24年5月 上旬	80	1	1,341	田子の浦～三保、焼津～大井川
中旬	287	5	956	田子の浦～三保、焼津～大井川
下旬	342	6	950	富士川～由比沖、焼津～大井川沖
平成24年5月 計	709	12	985	
平成23年5月 計	493	8	1,027	沼津～富士川、焼津～大井川
平成22年5月 計	344	8	717	沼津～富士川、大井川～吉田

**[シラス船曳網]**

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が116kg、遠州灘が263kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は230kgと前年同期（703kg）の32%、平年同期（過去5か年平均：626kg）の37%と前年同期、平年同期を下回った。

総水揚量は356.6トンで前年同期（1,521.7トン）の23.4%、平年同期（1,519.7トン）の23.5%と、前年同期、平年同期ともに下回った。

平均単価は933円/kgと昨年同期（432円/kg）、平年同期（518円/kg）ともに大幅に上回った。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	35.1	12	156	225	879
舞 阪	168.4	14	582	289	867
福 田	90.9	13	330	276	970
御前崎	21.0	13	130	162	1,079
吉 田	27.5	11	239	115	1,182
静 岡	13.7	8	116	118	920
平成24年5月計	356.6	71	1,553	230	933
平成23年5月計	1,521.7	92	2,166	703	432
平成22年5月計	1,053.5	105	2,534	416	591

**[まき網]**

小川港ではマイワシが2.0トンの水揚げで平年同期（14.9トン）の13%であった。沼津港では、マイワシが20.5トンの水揚げで平年同期（77.1トン）の27%、カタクチイワシは57.1トンで平年同期（27.6トン）の207%であった。静浦港では、マイワシの水揚げはなく（平年同期0.75トン）、カタクチイワシが332.7トンの水揚げで平年同期（283.0トン）の118%であった。伊東港ではマイワシの水揚げはほとんどなかった（0.039トン。平年同期は0.2トン）。

注) 平年同期：過去5か年(2007～2011年)平均

**[調査船の動向]**

駿 河 丸

5月 7日	～	5月 9日	地先定線観測	(3日間)
5月 10日	～	5月 11日	シラス/ハダカイワシ資源化調査	(2日間)
5月 14日	～	5月 18日	カツオ魚群分布調査	(5日間)
5月 24日	～	5月 25日	サバ調査	(2日間)
5月 28日	～	5月 29日	シラス/ハダカイワシ資源化調査	(2日間)
5月 30日			ハダカイワシ資源化調査	(1日間)

**静岡県水産技術研究所のホームページ**

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

